

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	RAINBOW長久手中央クラブ		
○保護者評価実施期間	2025年3月1日 ～ 2025年3月14日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2025年3月1日 ～ 2025年3月14日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さまや保護者様からのお申し出について、対応の体制を整備し迅速かつ適切に対応している。	一旦は管理者に情報を集約して、対応方法を話し合ってから迅速に対応するようにしている。	今後も適切な対応で顧客満足度を高めていく。
2	子どもたちや保護者様との意思の疎通や情報伝達のための配慮を行っている。	ゆっくり話す、分かりやすい言葉で話す、見通しがつくように配慮するなど、その子の特性に応じた話し方に気を配っている。	今後もお子さまの特性に合った支援、コミュニケーションを心掛けていく。
3	放課後等デイサービス計画に沿った支援を行っていること。	期限までに必ず計画を作り、作成後は職員間で共有している。	保護者様、職員の意見のみならず、当該お子さまの関係機関についても幅広く意見を伺いそれを反映すること。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童クラブや児童館との交流、地域の他の子供と活動する機会が少ないこと。	主に事業所内で活動しているため、交流する機会が少ないもの。	お出かけや外遊びの際には他の子どもたちと接する機会を意識的に増やす。例えば公園遊びであれば、利用児に遊具の貸し借りを自身から言う練習をしてもらおうなど、スモールステップから始めていきたい。
2	支援開始前に職員で十分な打ち合わせを行うこと。	送迎業務や非常勤職員の出勤時間の兼ね合いもあり、現状は支援開始前に全員揃って打ち合わせを行うことは難しいため。	管理者や常勤職員が中心となって個別のコミュニケーションや申し送りなどをしっかりと行っていく。
3	活動プログラムの立案をチーム全員で行うこと。	現在は管理者を中心にプログラム立案を行っているが、より多くの職員の意見が反映される仕組みが構築されていない。	全体でのミーティング時より立案の準備を進めていけば、より多くの意見が反映されると考える。